

事案名	石橋町の事案（栃木県9-2）
分類	発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『朝日新聞』昭和48年8月25日〔1〕 ・『栃木新聞』昭和48年8月25日〔2〕 ・『栃木新聞』昭和48年8月26日〔3〕 ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）平成15年10月9日〔4〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔5〕
資料内容概要	<p>昭和48年8月24日に、栃木県石橋町の教育施設の新築工事中に地下から旧軍の毒ガス弾等が発見され、自衛隊が処理を行った。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和48年8月24日に、栃木県石橋町の教育施設の新築工事の際に地下約1.5mの部分から毒ガス弾らしき物が発見された。同日、陸上自衛隊宇都宮駐屯から隊員3人が来て調べた結果、旧陸軍が毒ガス弾に見立てて訓練用に使用した催涙薬品の入った「93式持久ガス現示筒」30本、「あか筒」10発、液体が入ったビン等が確認された〔1〕〔2〕〔4〕。 ・昭和48年8月24日～25日に発見された93式持久ガス現示筒等（赤筒等）は513本であったと記載されている〔5〕。 ・昭和48年8月25日に、陸上自衛隊宇都宮駐屯部隊の不発弾処理班の手により処理が行われ、カルキで中和させた後、コンクリートに密封し、汚染土の除染を行い、コンクリートは海中投棄した〔3〕〔4〕〔5〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、発見場所は教育施設の敷地になっている〔4〕。